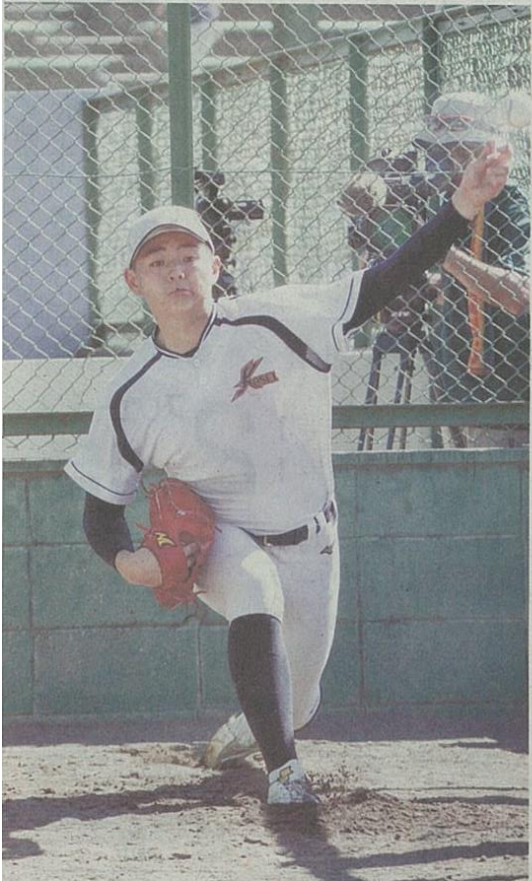


光星仕上がり自信

きょう明桜(秋田)戦

第105回全国高校野球選手権大会に出場している青森県代表の八学光星は大会第7日の12日、第1試合(午前8時開始予定)の2回戦でノースアジア大明桜(秋田)と激突する。ナイ

ンは夏の甲子園の初戦を控えている。伊丹スポーツセンター野球場で最終調整。仲井宗基監督は「全ての力を出し切れる状態はつくれている」と、チームの仕上がり具合に自信をのぞかせた。



ブルペンに入って投球練習をする八学光星の岡本琉奨=11日、兵庫県伊丹市

えた11日、兵庫県伊丹市の伊丹スポーツセンター野球場で最終調整。仲井宗基監督は「全ての力を出し切れる状態はつくれている」と、チームの仕上がり具合に自信をのぞかせた。

近距離打撃では、選手たちは夏の甲子園の初戦を控えている。伊丹スポーツセンター野球場で最終調整。仲井宗基監督は「全ての力を出し切れる状態はつくれている」と、チームの仕上がり具合に自信をのぞかせた。

ちが互いに「ナイスバッティング」などと声をかけ合いながら練習。主砲の中澤恒貴主将らが右へ左へと快音を連発させ、順調な調整ぶりをうかがわせた。

力のある速球を見せていたが、「ボールのぼらつきがあった」として、自己評価は「60点」。初戦に向け、「出番があればとにかく最少失点で抑え、打撃に流れを持ってこられるようにしたい」と意気込んだ。

(千葉達也)

いつでも行ける準備を

光星サイン 甲子園だより

②畑垣紫(投手、3年)

=和歌山・南部中出=



関西は暑い日が続いています。たまった疲れを取るため、ホテルでは浴槽にお湯をためて20〜30分は漬かるよ

うにしています。

青森大会での出番は少なかったですが、頑張っている2年生のピッチャーへの声かけなど、自分のやれることはやりました。

こっちに来てからはブルペンにも入りましたが、良い球を投げられています。

いつでも行ける準備をして初戦に臨みたい